禁裏御所御用日記 一三

826
371
91

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

文政十三庚辰年

13

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

文政十三庚寅年

正月小

元日辛卯晴

一今暁吸物之後敷奏神供等之事
　　如例

一廿八卯刻年頭使被遣、御勤
一例刻御着、年賀、日別一統奥、出御上
　手水退出
一御茶碗百疋

一御着、年賀、今朝少々之内ニ参り分
　日別ニ名代ニ而参上ニ付、略之
一百疋御下賜ニ付、奥上

二日壬辰晴

一今朝止刻卯刻ニ年賀被遣、御勤
一御代参ニ而御礼ニ上ル
　参ル
　内申半刻ニ退出、申半刻
　退出、申半刻
一姫宮ニ而御女二疋ニ被為入
一今日当番

一勝手ニ而御茶壱重、被遣
　ル、被為入

大正
6. 4. 13
購求

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

三日癸巳晴
一家内氣色一如元旦
一今日勅使出立ニ付
一弁當不參祝儀
一法末詰之由礼吉田田中梨木
一晝頃白氏ヨリ
四日甲午晴
一仙洞様ヨリ
一勅礼
重陽時
右例勅使未ヨリ
一菊子一筥三支
右例物集ヨリ
一上皇詰之由礼
一主殿寮ヨリ
一今日泊村氏代勤
東刻ヨリ退出
五日乙未晴
一平朝出勤
一今日泊村氏代勤
東刻ヨリ退出

安祥寺

鴨脚

勅使

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

一今日法村氏代参
申刻ヨリ退出

一寺町百万遍
右御堂ヨリ通ル 沸石仏洞称ノ後ヨリ
但元二日土塀ヨリ往来有 時報寺ヨリ

一沸石ヨリ沸献ヨリ下ル

一小豆

一辛汲

右ノ例ヨリ来ル 八瀬村
木ノ村

一山科勝ヨリ通ル 辛ク物分ヨリ
弥小祢ノ為ノ年礼

七日丁酉晴

一白豆第今日行ノ例

一今日加茂ヨリ例刻出勤 第今依ル
退出 例刻

一今ヨリ朝夕七種粥ノ例

一刻限年礼ノ例

一ヨリ礼
廃

右ノ例ヨリ来
但為行ノ例年礼ヨリ
右ノ分ヨリ

六日丙申晴

一今日当番出勤

本清寺

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

八日戊戌雨
一大和守来年始二被参
玉殿御生ス
一日永武家ヨリ預リ
年始被ニ
九日己亥晴
一泉涌寺御陵ヘ
十日庚子晴
一今日当番出勤
一午後上加茂ヘ年被ニ
一上京ヨリ年ノ為
所御生ス
十一日辛丑晴
一今日当番出勤
一御ふた付
久法師ヘ
一当番ニ付申刻ヨリ
御所ヘ
退出ニ而帰ル

一太刀折紙御礼申刻

一太刀御和歌書羽十足
内侍所御献ニ而
退出二而列ス

十二月十七日 癸酉 晴
一御発内侍所 御菓子 年始祝儀
一宰相中将殿 参内 年始祝儀 二而
御対面 御盃三献 有之

十三日 癸卯 晴
一年始礼 先文之通 被
勤ル
一町口弾正忠 来 対後而 御面会 列

十四日 甲辰 晴
一衆内注連飾等 追々 来 今日 撤却ス
一御当番 出勤 列ス 但 退出
一出門申刻 清村出雲守 御宅 伺候 列

十七日丁未晴
一西隣布
右如例之事
一未之五日之刻女二宮御産所内侍作生

十八日戊申晴
一辰刻之出門参禁中今日之速勅使
〻行逐生

十九日己酉晴

十九日己酉晴
一辰刻御湯殿ニ而御髪被召前菊厳平同御
加減御進生（西一刻）
一御祓御陰由緒記被召下ル
一御庭ニ而大嘗祭之御神楽
一御代参御門内ニ而御庭ニ而御神楽
一刻限ニ而御庭ニ而御神楽ニ而御拝
又表ニ而通夜ニ而御参内ニ而御拝
辰刻ニ而御庭ニ而御神楽ニ而御拝
午刻ニ而御庭ニ而御神楽ニ而御拝
子刻ニ而御庭ニ而御神楽ニ而御拝
辰刻ニ而御庭ニ而御神楽ニ而御拝
午

廿二日壬子晴
一今日當生勤
一弾正尹參、未下刻

廿三日癸丑晴
一明後五日
吉服可上旨ノ勅使
名刺三到五勅ノ
一勅使ノ口上伏寺ニ
ノ

廿四日甲寅晴
一御発駕被遊、

廿五日乙卯晴
一空正勞ニ
願ニ
詰ニ

廿六日丙辰雨
一卯ノ

廿九日
中十九

右原ノ

廿六日 丙辰 曇
一和供
飾
右如例出来
一人々々勤労之事、本辻近代有之事
一春秋当番催促、於村里雖為
公事、来酒肴菜不出之儀、
一小依陪覧文、不出之、

廿七日 丁巳 晴
一来使帰洛、
一上皇御平安有
一日家武行等出之、

廿八日 戊午 晴
一今日為代出勤、
一両代御番当番ニ付、
宮厩坐り、
於御番所ニ、
諸大夫ハ
一

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

一土佐文人来訪筑前
一孝子褒賞ノ儀ニ付
御用

廿九日己未晴
一当番ニ付出仕夜ニ入
一白銀十
右ハ子一月遠忌ニ候ニ付
御修理ノ
進度十両差遣
一須彦伊勢守年始
申遣別ニ勅使
一久我
一三条
一万里小路
一大宮ノ方悲歎ニ付
一久我
一三条
一万里小路

二月小朔日庚申晴
一今日当番出勤
一

井上和三郎志
万林常力

二日辛酉晴

二日辛酉晴
一今朝吉田兵沸靈社ヘ参詣
一関東ヨリ使者参向
三日壬戌晴
四日癸亥雨
一江戸村式番代生薑
一東使沸騰之
一小倉殿光文四年初度信被仰付候間御祝ノ為ニ生薑
五日甲子晴
一今日當番生薑
一明石信濃守殿中ヘ一昨日八條文ヲ以
一吉祥院ヘ御年礼、年礼也
六日乙丑晴
一今晩於安祥寺江戸ヨリ飛脚今ニ到着
一松園前兵衛殿男信濃殿御用ニ而御登
并内室ヘ御登ニ付御見舞ニ参ル
御留守ヘ御年礼ニ参ル

一二日辛酉晴
一今朝吉田兵沸靈社ヘ参詣
一関東ヨリ使者参向

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

七日丙寅晴
一主依召文参内暫ニして退出
一午刻より雨降

八日丁卯晴
一早朝行幸ニ付参内

九日戊辰晴
一御出勤

一女院ノ方ニ醫ノ所ニ御渡
別紙日名余所ニ

十日己巳晴
一新宅稲荷社ニ初午ニ付小豆飯ニ来ル例
供ノ者例

十一日庚午晴

十二日辛未晴

十三日壬申晴
一巳ノ刻ニ當番宮殿
一御旅宿ヨリ文来

十四日癸酉曇ニ

十五日甲戌晴
一傳奏庭令朝覲示シ給ヒ之ヲ

十六日乙亥晴
一雖不陰、取紙

一又聞、於安祥寺山回阿波介、江源寿令
二月生二庭一事ヲ

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

十七日丙子晴
一当番出勤

十八日丁丑晴
一早朝錦小方餅鈔今月発
一未ノ刻ニ八条蔵預ヨリ使ヲ以来ル

十九日戊寅晴 大雪ル七寸余積、
一梅園前泰識及次男稔麿北堂母堂ヲ
従迎ヲ以招ク因テ参ル母ノ来ル
又新冬木打添線通法定ノ今ノ春ノ
結納ヲ也右ノ従通ノ使ヨリ来

廿日己卯雨
一当番出勤
一今朝武井清次帰宅久我ヨリ来ル
一今朝村清次帰宅ニ付出勤
条休息ニ付出勤
一今朝順正朝敷土ヲ作生

二十一日庚辰晴

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

二十一日庚辰晴
一今日當直勤
一御陪従之儀弥

二十二日辛巳晴
一久我大臣五把
右今日初而整
〃　三把
右今朝殿進上
両御所様御通之手拭
参候御所様御舞初而
今朝殿御舞初而
為祝儀平折紙
御肴参候
一夫右之通勤
こゝろ右之舞

一出門時刻ニ参ル及申刻帰ル

廿三日壬午晴

一日一把

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

十四日癸未晴

十五日甲申晴

一今日當生菓子働之儀ニ付申渡書付案

一両下刻 大小路下立売降ル之所花

類火先是町ニ一軒ニ

十六日乙酉晴

一今日御所ニ而朱雀

一久我菜 二把

右為上之儀ニ

日 二把

右長橋殿遣上

右御菓子被合之旨ニ而

御門ニ而朱雀ニ

れ何ニ而も遣ス

十七日丙戌雨

久我菜二把

右之儀ニ付今日勅使

一日二把

右例菜

施薬院ヘ

一日一把
右如例奉送

一右衛門佐局ニ而例之通ニ而奉送
一午刻許ニ勅使定ニ而被参向

十八日丁亥雨

十九日戊子晴
一今日當番出勤

三月大乙丑朔雨

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

一久我亭、昨日以在何条後
一汁中以在汁相交勤之山公被
一町に未刻参候

二日庚寅晴
一上皇御幸也

三日辛卯晴
一当日少礼生預供奉之由乱之

四日壬辰晴
一当番出勤

五日癸巳曇
一深更仙洞御所申刻退出帰宅

六日甲午雨

一於安祥寺錦御江被修
一禁裏院殿御尋被遣
[illegible]

七日乙未晴

一勅答院ヘ被遣

八日丙申晴

一今日当生前

一小菊七杯

右禁裏院関東ヘ両度立物被遣

九日丁酉晴

十日戊戌雨

十日己未晴
一今暁雨方ニ
一安祥寺會式ニ
十一日庚子晴
一當番出勤
十二日辛丑曇
十三日壬寅曇
一朝滝ノ勾下ケ
十四日癸卯晴
十五日甲辰晴
十六日乙巳晴

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

十六日甲辰晴
一今日當番出勤
一文殿安弁勝手ニ付次弁令ニ

十七日乙巳
一来廿廿日方ニ於武家伝奏屋

十八日丙午
一申刻已行下官村時有雅侯帝酒
宴菜菓木出留物遠雅侯ニ吏帰家

十九日丁未晴
一出門午刻下官村日乃志留、越房守辺ニ
依而両下刻帰宅

廿日戊申晴
一當番出勤

廿一日己酉晴
一西七條右馬神馬牧見物被申遣候、
今朝勅使
廿二日庚戌晴
一花洛村方江被申合催候ニ付早朝
夕方歸
廿三日辛亥晴
廿四日壬子晴
一今日當番勤
一小御所御庭掃除被仰付候ニ付
今朝上ル
一梅宮祭小祓被仰付候ニ付一番ニ參ル未刻
歸ル
一御所御庭掃除今日未刻ニ相濟候
廿五日癸丑晴

一赤劄生ツ町ニ住 白川村日傳 白川村日傳 白川村日傳

一赤刻生ツ町ニ住ム村田修白川藩邸
五名銭泥地名ニ入レ来レリ
三井寺ニ住職大津ニ出テ留守ニ

庚申晴

一入夜於女御方ニ菊ノ文舎ニ有出座和漢連

十七日己卯晴

十八日庚辰晴、

一御所ニ曙子被御出ノ為ニ今日警衛被仰付
玉生勘助被差添遣ス

一仙洞御葉ニ有

一道投寺ニ五ニ跡村ニ吹聴ニ和歌

廿九日丁巳晴

一 右小沼右前尼為勝落飾ニ付 御道具被下

晦日戊午曇

渡三月小一日己未曇

一 又駿於安藤寺法要今日終

二日庚申晴

一 御祝詞 幸子

為御名代三升六合

御白米 兼院殿御方ニ

三日辛酉曇

一 落村返代生勘弁今日迄ニ

ふ来

一 今晩子刻東本願寺

御作事ニ付炎上ニ

ふ刻

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

一今晩子刻東本願寺僧侶事故之災一町余リ焼亡
一雅楽寮図書寮ハ無事
一清涼殿ハ焼失
四日辛酉晴
一土佐光文方ハ未焼失
一清涼殿ハ焼失
五日壬戌晴
一寛平法皇九百年忌ニ付
仁和寺ニ宮参ニ行ト
一院辺堂社幷ニ諸大夫ノ邸宅
未焼失
六日癸亥晴
一今日ハ静ニ出勤
一局ニ室院ハ焼失
一紫野ハ今ニ有之ニ付
七日甲子晴
一渡辺他行ニ付
午ノ刻ヨリ参内申刻ニ退出

廿日丙寅晴
一沢村方へ今夕参
一お願筋ニ而参小田安照ヶ参時許ニ
帰来

九日乙卯晴乙午后雨
一今日書出勤。
一於亭江源殿今夕催町口沢村杢へ参
早々御宅申出ル
一御禁院ニ而自中見舞参ル

十日戊辰晴
一今日書出勤。
一安部守今夕被ヶ来ル

十一日己巳晴
一若狭。

十二日庚午晴
一若狭。

右之乗

西迎使程ヶ

一正門年賀列断是ハ沢村寿栄ヶ
結清ヶ寺西下刻帰宅

一出門年賀卯刻ニ是ヨリ江村書記
綾清水等西下刻帰宅

十二日辛未晴
一渡邊勇僊妻光琴ヲ来ラシ而招
一荘司周悦ヲ招ク八ツ半ヲ合来

十三日壬申曇
一今日出雲守出勤
一修学院ヨリ使ヲ来ラシ吾卯刻若而下ラシ
明ル十四日ヨリ修学院ヘ修生
十五日癸酉雨

十六日甲戌晴
一仙洞修学院ヘ参ラス
一日家武家ヘ参礼ス

十七日癸晴
一関宣院及淡辺、伺出ス
一伝村主可栄来刻付来申刻迄ら留
十八日甲子晴
一今日尚書出勤
一長つ侍従本城方ら三百七枚伺文ら下
十九日丁丑曇
一員幹先生并三内祭員自行智福院
必受ら旡
ヨリ也 日意生お御、今夜員幹宮ゟん
ゟり 次文祭文ら預ゟ後ゟ芳ゟ
繼紙ゟ 5 供次葉五
於二間ゟ并尚樓飲食光 委利
次帰

廿日戊寅晴

廿一日己卯曇
一今日尚書出勤 ゟ
一御菓子加ゟてら
而ゟ今日迄ゟ
出勤帰ゟ

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

一御菓子如例

廿五日癸未晴
一浜村雲州より来ル
一三度佐野廻り勝頼卿発駕聖光
廿六日甲申晴
一新刀代拝領者より後ふ時刻付 添機嫌
第上
一今日当番出勤
廿七日乙酉晴
一もち焼之
右如ク年号文ども来

秋園殿

廿八日丙戌晴
一勅使院ゟ五十五日登城当見合
ら依有之風邪閉門ニ来ル中来

廿九日丁亥晴
一近辺へ伺ニ参ル 申刻ニ帰ル

四月大戊子朔晴 朝曇

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

四月大戊子朝晴 朝日雲
一院中御庭小々之台木今日より出勤
一三日橋若狭守宅へ弥来
二日己丑晴
一錦小路殿年頭として東叡後而及申刻
帰
三日庚寅晴
一今日当番出勤
一明四日通明院并三面忌之台

録之
香奠
今日百疋
菜料
録之
布施
之台
赤飯

右之通当番出勤之台
仍而御供并之台入
墓参ニて不参之台
墓参ニて不参之台

一白餅十三
右日野之台志ニ而
二十枚之来

山脇道作

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

四日辛卯晴
一当所御番二番ノ者
及巳刻ニ参ニ付ル
五日壬辰晴
一今日ハ吉田ヘ行ル
六日癸巳晴
一今日当番ニ勤
一明七日八幡ヘ参詣
暇ヲ乞
七日甲午晴 三刻許
一出ツ卯ノ二刻ニ石清水八幡宮ヘ参詣
御初穂壱朱ト十疋供
八日乙未晴
一午後ニ野村ヘ参ル
壬申年ノ刻ニ

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

九日丙申晴
一辰辺ゟ神楽こもる
一たけのこ七本
一御例参来

十日丁酉晴
一亭主参こ伯こ出勤
一今り飛尾参て有歌子(敬子君)活逗ゟ
一条ゟ五度の状来

十一日戊戌晴
一今夜参来山岡の妻
病気悪

十二日己亥曇

十三日庚子曇
一今日岡崎出勤

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

十四日辛丑晴

十五日壬寅晴
一帥隆淡ゟ竹田へ進状、
大石ゟ到来

十六日癸卯雨
一ゟ屋内会人衆朝早ゟ書ゟ
伯村

十七日甲辰雨
一今日當番ニ付、早朝出
一小代源五文かゟ茶来、彼方
備用ゟ来

十八日乙巳晴 秋ゟ雨
一北条来、依ゟ件衣
一安徳天皇入水之図

十九日丙午晴

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

十九日丙午晴
一家武行被来尚日ニ後参賀ス

十日丁未晴
一今暁萬姫君御津国ニ於テ薨去ス
一来ル二月ヨリ七箇年ノ間、毎年菊ノ節ニ白銀壱枚ツヽ被下置候旨、
仰出ラル

十一日戊申晴
一小徳院殿文四ヶ日ニ付、人参ス
例ノ如シ

十二日己酉晴
一加賀参内ノ後、参宮ス列人出門ス
一加賀家ヨリ菊ノ節ニ被下候御礼ノ為、被参ス

十三日庚戌晴
一加賀家ヨリ菊ノ節ニ被下候御礼ノ為、被参ス

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

廿四辛亥晴
一今日年禮出菊半折
一菜 二代
一大一時前年參番相勤
廿五日壬子晴 申刻許小雪
一自今日入梅 八せ人のそゞめ
廿六日癸丑晴
廿七日甲寅晴
一今日年禮出勤
一菊半折 万年青
廿八日乙卯晴 辛夜子時

一同列并八ツ前參集出勤
一雨ニ而殊外降 小雪子上刻 申半ヨ

一日前参入之有為加賀出勤

一雨ニ而不敷子上刻 少云尾ニ而暮ヨ

十九日 晴 辰時

一孝子先ヶ雨ニ而来ル 尾ニ而不行歸

一小侍従光文ヶ来 来二刻 對顔申時ヶ風

晦日 丁巳 曇 小雨

一孝月 三井寺ヶ来訪 対顔 六十一和 長七条ヶ来訪 対顔 四百二十和

今日 町ヶ向生ス

六月小 戊午朔 晴

一先月朔日ヶ雨ニ而延引 今日ヶ来代酒肴出ス

一加藤出度ニ而先ヶ招 先ヶ断ヶ申ス

一久我家ヶ為ヶ礼来ル

二日己未晴
一依勅旨改今日勅書出勤已来日勤
結了
一女御准后宣下 来廿二日
当限 陣定 作出来可
三日庚申曇
一蔵人代加保申付例文、仰遣之
四日辛酉雨降
一萬歳楽如例
一作物之郷 新使 教理之
文 禁裏左大弁殿
土郷 九條右府殿 尚忠公
一禁中今日廃務 依勅旨之

五日壬戌晴
一霜三尺
去夜戌刻大地震動 其後震動数度
仍記之

一両日勅諚之間勅
一勘例例列出勅是出例列八四ノ九三

一禁中ノ衆議一同ノ事

一類従例列出勤退出例列八ツ山ヲ

一多方町々角ヲ主人中門ヨリ筆有之ニ兵衛

着候而石列ヨリ帰候、従是前駈下馬ノ

事

一家内衆手本例

六日癸亥晴

一今日高雅勧不参

七日甲子

一今日高雅宅ニ(佐吐ヶ)ヨリ振来ル

一多方小侯(弐千石中ヨリ列

宅酉刻ヲ)

八日乙丑

九日丙寅

一従是多仲列ヲ大面勤行

(手比ヶ大面

御ヵ)

十日丁酉晴
一今日小堀左衛門尉所へ遣之、昨日
御所へ
十一日戊辰晴
一吐久手下男、昨日参内、清水矢狩ノ
お末ヲ診
十二日己巳晴
一清水御通宝野文阿
ニ乃お末ヲ
十三日庚午晴
一今年當聖文宗異
月ニ若ニ叶ハ今月十六日ニ
則土ヲ修ル積ニ付御
代参御
番典、祝ニ日
右御末花ヲ御
ニ而ハ御
通方政ニ日
御末ニ御
一福岡前藩浅野次男
助朝渡辺ヲ
真空一院

明朝渡辺讃岐守殿へ
使しゃを以て
勅答
被仰遣候旨
武家伝奏
広橋前大納言殿へ
申入候事

一御所様へ
参上人数
一箱 唐衆

右毎々篇元服
勅使
御参内
被遊候ニ付
御祝儀
被進候事

一青山打掛
御着座之節
御太刀
御奏上
一通ニ而
御退座之事

十四日辛未晴
一万里小路殿へ
御参賀
被遊候事
御祝儀
被進候事

一法印宗室
申刻ニ
御所へ
参内
申刻ニ退出
宗室宅へ
帰宅

十五日壬申晴
一御所様へ
御参賀
被遊候事
一今日ニ到
勅答
被仰遣候
勅使
広橋前大納言殿
渡辺讃岐守殿

十六日癸酉晴

一来七月十日宗具院殿五十回御忌御布施
引上今日清四郎ニ而取ニ遣ス

布施持参ス
　　門　秋之丞

右之通取扱候ニ付而ハ御料理一汁三菜
菓子四種差出候ニ付而ハ御吸物ニ而
御出し被成候旨上ル一汁三菜菓子ハ
下ル一汁二菜菓子ハ心安キ
寿斎ニ而ハ御出し申ス様ニ御沙汰光文寺
ハ時宜ニ申ス様ニ御沙汰光文寺
菓子四種差出候ニ付而ハ御吸物ニ而
御出し被成候旨上ル一汁三菜菓子ハ
下ル一汁二菜菓子ハ心安キ
寿斎ニ而ハ御出し申ス様ニ御沙汰光文寺
ハ時宜ニ申ス様ニ御沙汰光文寺
菓子四種差出候ニ付而ハ御吸物ニ而
御出し被成候旨上ル一汁三菜菓子ハ
下ル一汁二菜菓子ハ心安キ
寿斎ニ而ハ御出し申ス様ニ御沙汰光文寺
ハ時宜ニ申ス様ニ御沙汰光文寺
菓子四種差出候ニ付而ハ御吸物ニ而
御出し被成候旨上ル一汁三菜菓子ハ
下ル一汁二菜菓子ハ心安キ
寿斎ニ而ハ御出し申ス様ニ御沙汰光文寺
ハ時宜ニ申ス様ニ御沙汰光文寺

一今日雪方ニ而光文寺
早朝ニ被帰　六条ニ来

一先例ニ依寺門法事ニ而
光経論ニ付而ハ式仏修
ニ而ハ御門ニ而ハ本法事ニ
ハ御門ニ而ハ御常法事ニ
ハ御常法事ニ而ハ御常法事ニ

一翌廿一日ニ光文寺
ハ御常法事ニ而ハ御常法事ニ
ハ御常法事ニ而ハ御常法事ニ

一隨院十
廿一日

小倉治光文
　　代
　　辰暮ル

右之通ニ来

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

廿一日戊寅 曇ル夕方雨
一梅園参ル（休）
（休）
（休）

廿五日 半夜

一 万代集 久安百首 殿下 御詠 初読初書

廿六日 癸未 晴

一 今日尚蔭之 紀逝去 書式 来ル 来

一 毎七日法事 五条一位入道 孝子 教子

一 山科院 逝去 書様 来 申刻 比 持参

廿七日 甲申 曇 夜 雨

一 禁裏 御所 御参内 書様 持参 申刻 比 帰

一 院 御所 参上 書様 持参 申刻 比 帰

廿八日 乙酉 晴

一 院 皇女 倫宮 御不例 去 廿六日 夜 半 御誕生 云々

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

三日 乙未 晴

一 乙一中初一正校

一 多宮之元

一 宇智郡 二ヶ

一 今日出勤 淳舟退代 ニ

一 某年貢無之 ゟ 御入

一 福嶋藩 ゟ 御使者 御登城 ニ 御逢 一 御書 ニ 御請 ニ 御帰

四日 庚寅 晴

一 今日出勤 淳舟退代 ニ

一 某年貢無之 ゟ 御入

一 福嶋藩 ゟ 御使者 御登城 ニ 御逢 一 御書 ニ 御請 ニ 御帰

五日 辛卯 晴

一 今日出勤 田中権助 不参

一 昨朝 某中納言 ゟ 御使 ニ 御逢 一 御書 ニ 御請 ニ 御帰

右 不取敢 某中納言 ゟ 御使者 ニ 御逢 一 御書 ニ 御請 ニ 御帰

但宗旨 宗門帳 有之者也

六日 壬辰 晴

一 御扶持方 ゟ 御扶持方 ニ 御渡

七日己巳晴
一今日 [illegible] 出勤之外
一上地留書ホト [illegible]

八日庚午晴
一今日依日在宅用向一切之

九日辛未晴
一今日 [illegible] 早参仍之外半刻出勤

十日壬申晴
一 [illegible] 関東より [illegible] 為府し [illegible]

十一日癸酉晴
一 [illegible]

十二日甲戌晴

十三日乙 [illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

十三日乙巳晴
一内侍所御神楽如例年
御出御
一御代参上花供参向清涼
殿祝詞奏之
一御神楽如例年
一御湯殿始如例年
一右之内侍所ニ而
御神楽如例年
一御湯殿始如例年
一御神楽如例年
一御湯殿始如例年
一御神楽如例年
一御湯殿始如例年
一

十八日庚辰晴

十九日辛巳晴

廿日壬午晴

廿一日癸未晴

廿二日甲申晴

廿三日乙酉晴

廿四日丙戌晴

一今日常寿院勤行　依安禅寺殿十七回忌也

廿五日丁　晴時

一今日常寿院へ御出　御代参ニ而

一今日諸大夫祢保之刻ニ被参候ニ付吉祥院墓参　花等

一此方ニ付吉祥院墓参　花等

廿六日戊　子時

一玉兎麹九ツ

右常中見舞ニ為来ニ付為返礼

宗旦へ

一倫宮今朝御入棺ニ付寺町報恩寺へ御葬送

浄浴号
善明浄院宮

右送迎ニ付御供ニ

廿七日己　丑時

一今日田中壱岐代ニ而出勤

廿八日庚　寅時

一久我殿へ南只今御門参候

一雑多ニ而不参　手紙ニ而断申入候

一今日仆来三日本切通シ下ル子古川巷頌ト申者
物故ニ付為悔ニ先一応リ麻上下ニ而罷通リ

九月辛卯朔時

一今日月次ニ付例之神供并例
一久我村清次郎ト申者先祖墓参ニ付
暇乞ニ罷出ル

右之通ニ付例之神供并例之
二枝幸行ニ来三日墓参ニ付
暇乞ニ罷出ル

七月大戊申朔日壬辰晴
一高井院市庭ニ而村之鎮守ニ
二日癸巳晴 甲刻ニ地震不止
後日ニ至
一神龍院ニ而ニ之墓参ニ
為御祈祷ニ
右ニ付条白ニ而ニ之
包銭 弐拾弐疋
同 振武弐疋 御墓ニ而ニ
右ニ付条白ニ而ニ之

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91　　ガラス使用

迎近来兎角多病ニ
人多ク亡失、此節京
大坂ニ生節有之候ニ
隣家重病ニ大坂
一宿いこしニ
一子刻半比漸辺仏寿
三日甲午晴　地震打
一今日も不絶鳴動、訪有之
去年中ニ有之大地震ニ
一右之外又新ニ
仙地震ニ
北方ニ来ル
日乙未雨　微雨
一今日も昼夜共如昨日
不止一時ニ
彼京中并大坂
一今日御参内御祈
一大宮様御病気
入来ニ
五日丙申晴　雷鳴

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

五日丙申晴　雷鳴
一今日巳刻、長橋、打ち入れ有り、未刻斗ニ東小黒
右ニ發り、小雨斗雷鳴ル、伝風斗吹き
ふ降ルまで、又ハ地震鳴動如元

六日丁酉晴
一今日昨ノ如ク小雨
一山作ニ仕候由ニ付、久々ニ乃舞ニ参ル

七日戊戌晴　昼前、打ち入れ有り、鳴動ス
一昨日ノ如ク、諸司勤
一清涼殿ニ於テ、御神楽
一笙、笛、参内、終夜ニ於テ、御神楽

八日己亥晴
一今日巳刻、地震ス、鳴動
一今日、前駈ニ供奉ス、御禊ニ依テ也
一今日、南曹出勤ノ諸司、皆ク上退ス

九日庚子晴　打ち入れ鳴動

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

一来ル刻巳勘馬口取小屋矢大ニ而
御乗廻ニ先仕立ル子刻巳法大
一宮刻中之宮通宮新殿入原左中弁重元
矢大ニ
一六原参リ申ス巳ニ参内ス

十日 辛酉 晴 朝ノ内静カニシ
一本清ちい中元参ル参内ス 巳ノ刻ニ
ヲ以テ不能伝ヲ若狭守代ニ御礼ニ通
ス帰ル

一勘解由小路 従五位下藤 蝉帽二挟
包紙 銭弐百文
拾弐羽二包

右例之通ニ而格別之儀ニ付
御届申上ル 以上
大右大弁宰相
十一日 壬戌 晴
一大右大弁宰相殿へ今日 御礼ニ
先刻之通ニ而
御届申上ル
一御酒 壱樽 之内
右中元ヨリ献上
御例之通ニ来

一来ル刻比新蔵ヨリ九上物
下北面速ニ

一未刻比刻為九上切雨止
下北雨速ク雲ヲ退ク
候ヘ共辺ヲ回セ森ヲ
一再申半刻ヨリ北彩雲ヲ上切退シ
下ケ次第ニ候ヘ
文章ヲ

十一日 壬寅晴小地震雨ニ雲多ク雨
一今ヨリ小地震時々
一金壱両到来
高橋 壱尺

十二日 癸卯 小地震
又未刻ヨリ
一今日雪出ル

一地震兄弁候初ヨリ

十三日 甲辰晴 小地震
一今晩院下之雪御出来

遠慶寺
三次大夫

一番翻二十把
一番翻
一番翻
一番翻

一今少将霊舟御使ニ
十四日乙巳晴 朝雨 小動
一聖霊令奉例ニ依ニ
供出し布施被引
一今日辻順延為代生
用 奉陵使生申ニ刻ニ
一蓮飯一打 兎例ニ
右勿体无ク被仰
奉出ニ依ニ
一大石従ニ転役ニ付ニ
御礼来ル

十五日丙午晴 朝雨 小地震
一昨夜ニ
一雨霊令奉ニ
一御菓子被ニ
ニ付ニ

十六日丁未晴 午時雨
一昨夜ニ
一御霊供ニ
一御霊舟ニ
一法事ニ
一入ニ

久我殿
依大変ニ
棚経ニ奉ニ
御代ニ
御霊供ニ
御霊舟ニ
御霊供ニ
御霊舟ニ
御霊供ニ
御霊舟

一雲霊送り火如例
一山々點火有之
晴
一陽波二十
一雷鳴
一地震
十七日戊申 曇 地震微動 有之
一田中迩代出勤御附弁迩生侍従
一大石主膳転役勤
一依雨中吐夕大文字送火不
施薬院ゟ

十八日己酉 雨 ゟ風 小雷
一御霊御祭礼ニ付例小雨
一小倉江光文書并庵女子生母其余
ゟ為知来候ニ為勤兄舞
一年前断ゟ年内諸時新後ゟ家禍

十九日庚戌 曇 微震有之
小雷
一今日ゟ三ヶ日小地震
一暮海鼠二喰
七年雨止志
一祥里大舎人
一来

二十日辛亥 雨 震雷 ゟ

二十日 癸酉 雷雨 朝ノ内 晴

一今日高倉出ル

天子ノ皇物轉役ノ為ニ

各年ノ例ニ依テ例月ノ如ク御祭

廿一日 甲戌 晴 後曇

一渡辺所労ニ付、来ル二日ノ処元雪

相若ク拵尚書ノ御事

廿二日 乙亥 晴 後曇

一早朝ヨリ文殿ニ於テ

三更ノ次第

廿三日 丙子 晴 後曇

一當番也依之例刻出仕午ノ退出

一當屋敷ニ於テ

行物ノ出来ノ

廿四日 丁丑 天晴 後曇

一清会人ノ如ク出勤

一臨幸院ノ

但此世ノ

申ノ刻ニ

下亜之

一祝田清光院正忌ニ付

西洞院ノ

一御院ノ轉倒ニ付

孔方三百完ノ

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

一夜色内裏頭中弁発遣
左衛門尉秀行朝臣叙爵
件秀行此頃

廿五日庚辰天晴小地震
一年任期法制官弁一年在清涼殿
陣宅 職事宣旨

廿六日辛巳雨
一関白殿名和姫君
河中大宮 之子内親王
也方々ゟ御祝儀
一今日当番出仕

廿七日壬午微震
一今日当番出仕勤

廿八日癸未微震

二十九日甲申曇
一今暁雪降亜雨之

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

二十日 甲申 曇
一今暁雪ヨリ強至亥雨ニ
ばかり
ゟ
右當夜八朔祝儀
嘯月
丙晴

八月大朔日 戊曇 地震
一當御所御所ニ而ニ
御
一今ハ當番出仕列ニ
迄ニ而列ニ
一年禮祝儀
右兩御所ニ而ニ
御 仙洞御所ニ而ニ
ゟ 仙洞御所ニ而ニ
ゟ 上様ニ而ニ
ゟ

一八朔御
右之例被

一関東ゟ下馬献上例ニて
也ほゝ之義ニ而ハ
一家門ニ而ハ如何ニ
石仕ニ而ハ
二日 晴 微雲
一年士愛宕代参
一朝之物ニ而
一当年ハ
お使

三日 晴 微雲
一徳川 勇吉来
乳母ニ而
一御局ゟ
一御局ゟ

四日 丑時
一
右之通
也
右将曽部
渡辺図書助

五日 辰ノ刻 晴

五日庚寅晴
一今日内侍所御神楽
一午剋参入、次参内、
左少将和秀ら候之、

六日辛卯晴 御祓

七日壬辰晴 小朝

八日癸巳晴 小朝
一出屏代生菓
一徳岡大炊助 今般本勝ち 仍升
自風祝ら来る

一御霊神午下 依之詣 両御霊 供
初穂 其外如恒歳之、

九日甲午晴
一今日内侍所出代生菓三付不参、

十日乙未 曇
一夕方ヨリ雨降出ル

十一日丙申 晴 曇
一今ヨリ四ツ半ヨリ雨三ツ半ヨリ

十二日丁酉 晴 雪
一来辰ノ刻ヨリ降出ル

一午後ヨリ大雪ニ而

十三日戊戌 晴 曇
一今朝ヨリ雪ニ而

一夜ニ入雪ニ成ル

十四日己亥 晴 地震

十五日庚子 雪 夕方ヨリ雪

一今日四ツ代ヨリ

十六日辛丑 曇 地震

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

十六日辛丑　曇

一町口弾正忠来対談夕方帰
一甘　敬子下ル

十七日壬寅　晴　曇

一今日清蕃先払り済免迎之振り

十八日癸卯　晴

一福田秀作殿父ニ病気ニ付
暫之間ニ而帰久ニ而ニ方山稼之作業ニ付今朝帰
知更右ニ付是非ニ
ニ付内ニ而父之看病ニ
ニ

一今日清雲寺ニ而
一京武馬ニ而
清用ニ而帰ニ

十九日甲辰　晴　雲

一城田秀作殿

二十九日己晴 地震

一坂四季俳席今辰刻吉祥院
葬送子刻兄逆修中之

十一月丙寅晴

一白銚十一

右清涼院十七回忌自為忠毋之
忌ゝいゆゑ為備和尚

上棟吉ゝ

十二日丁未晴

十三日戊申晴

十四日己酉晴

十五日庚戌晴

十六日辛酉晴 御取

廿七日壬子晴

廿八日癸丑晴

廿九日甲寅晴

三十日乙卯晴
一今晩小雪為例儀

廿日丁巳天晴雲

一御霊院へ参詣　祖考霊位

一宮殿へ参詣　祖考霊位

一吉田神祭

一吉田神院へ参詣

三日戊午天晴雲

一今日祖考忌祭ニ付不参仕候事

一御霊院へ参詣

一宮殿へ参詣

一吉田神祭

四日己未晴

一雲

一吉田神祭

一御投物壱文九平八斗

八洲村ゟ

廿一日庚申晴

廿二日辛酉晴

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

六日辛酉晴

七日壬戌晴

八日癸亥晴
一会日忌明後始行之

九日甲子晴

十日乙丑晴ク及

十一日丙寅曇及

十二日丁卯晴

十三日戊辰晴
一石清水奉幣使発遣
一神嘉殿へ渡御
一鈴奏

十四日己巳晴
一鈴奏

十五日庚午
一公家親王門跡参内
一小菊 十枝 今朝献之

十六日辛未晴

十七日壬申晴

十七日辛申晴

十八日癸酉晴

十九日甲戌晴
一出雲崎着
一佐渡小木着

廿日乙亥晴

廿一日丙子曇

廿二日丁丑晴
一今日島崎代官迎代官

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

一御行所假啟ル仍テ代官ヲ
仰セ付ケラル書院番衆ヨリ名前
書差出ス筈延引申刻ニ

廿四日辛卯晴

一今日モ代官ヲ

廿五日壬辰晴

一ごんぼう一袋

右故物臨七回忌ニ付為
差下ス陽明十郎迄

廿六日癸巳曇

一日永喪事ニ付ケ
晴朝参ニ付小袖上下着候事

廿七日甲午晴

一申剋御用ニ付
一今日モ小袖上下着ス早朝右大将殿ヘ

廿八日乙未晴

一両村高免御取箇

二十八日 乗暗

一内侍所仮殿遷宮日時定陣儀等事（別紙）

一今日清仲卿口宣到来云、
一、御書一人ニ付俵ニ而可下行事
一、御書ニ而可下行事
次小口ニ付俵ニ而可下行事
一、御書ニ而可下行事

一妹文お敬吉田社公文所 鈴鹿神主 為宮年 妻ヲ請
十六才 二十六

前河関当関頭当番ニ而 公文ハ知ラ
ス 此光文ハ遣ス
貞宣陪膳ニ而少々宴
和人も参ル而此方ニ
ル約束ニ而両今も
約束ニ付此方ニ
高尾内人数之来教読ス
御遣ス 先方ニ
ホ光文ハ遣ス
来ル地打候ニ而
ス一件ニ付別ニ
一今日吉原ニ付続紙

なこ地 一反
常地 二節
未廣
鍬
柴杉 一荷

太夫 太神宮助勤 鈴鹿 五箱ニ而

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

一十二神祇々朝拝之
有之事

一於殿上日刻参上
生参下殿或人
天皇
御拝
事有之
事有之
事有之

…例礼御上流一統
…佐下迄)参上
…典、訳参内東水祝
…年 勇次郎
…久保田宮へ参
…院殿へ参
…務改法服元服等、
…参

三日 晴 戊刻

四日 戊寅 晴 午下刻
一注進状参ル 二ツ
一勇次郎 東宮殿下御
…参内 御対面中刻
…退出

五日 己卯 晴 昨夜
一久我内府清寺へ永丸一流宗伯
…祥忠香典 銀三包
右礼状来 宗伯…
…(此方より歴上下)
一地震ニ付 東宮殿下
…御容躰 御様子
…参 御機嫌伺
…久保田殿へ

六日 庚辰 曇 昨夜
一主殿殿 山三心…
一皇子御殿被益
…今日 稲葉丹後守来ル

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

六日 庚寅 晴

一文景院殿 三忌 今日 御法事 東山

一皇子 御誕生 益

御機嫌 宜 等 六位 祐

為御 名代 参

七日 辛卯 晴

一仙洞 御所 御花 付 御

一町 尼 久 来 対面 御取次 田宮刑部

八日 壬辰 晴

九日 癸巳 晴

十日 甲午 晴

一今日 御祝儀 及 五 供物 有 之

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

十一日 乙未 晴
一昨日 不堂 と申 来
文名 筆 残 ル

十二日 丙申 雨

十三日 丁酉 晴
一今弐 例

十四日 戊戌 曇

十五日 己亥 晴
一作 白赤

石剛 之 通 言 花 洛 陳 祝 能 於 之 方
下 立 之 之 侍 之 文。 春 ハ 漢 改 ず 之 毛 年
什 筆 作 之 之 し 於 武 事 を ハ ほ ん
中 上 之。

久 武 於 ん

十六日 庚子 晴

一今夕 物 作 所 ハ 洛 陽 ハ

一今晩御行所
十七日辛酉晴
十八日壬戌晴
一世務甲寅今晩刻寺町ヲ北江
有栖川ノ末
一世務甲寅今晩刻寺町ヲ北江
不通ニ付葬送
一今晩御行所
十九日癸亥晴
一今日終内清火
二十日甲辰晴
一内侍所御殿清

二十五日 庚 雨時々

二十四日 己 晴

一井上右兵衛尉当代生父

二十三日 戊 未候

一世倭ゟ引物到来之奉謝状

二十二日 丁 晴

一今日当番ニ付参内侍奉殿清書

ニ付 賜御厳重勅使（両刻）

一剋限参宮无滞三宮ニて

一将子酒宴絃両調御所具被下候ゟ

但女子伝法御事不賜之仏掌

手ゟ下

十八日 丙午晴

一今日当番ニ付参内侍奉殿清書

ニ付 賜御厳重勅使（両刻）

一剋限参宮无滞三宮ニて

一将子酒宴絃両調御所具被下候ゟ

但女子伝法御事不賜之仏掌

手ゟ下

二十五日 庚 雨時々

二十四日 己 晴

一井上右兵衛尉当代生父

二十五日 庚 雨晴

二十六日 辛 戌晴

一今日御製之奉行

一

十七日 壬 亥晴

一勅之報子二台坐勅 四条殿ヘ

十八日 癸 子晴

十九日 甲 丑晴

一去條院崩去

廿日 甲 寅晴

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

一今日吉祥院改法服元陳忘之

五日 庚未晴

四日 己午晴

三日 戊巳晴

一今日當家吉祥院改法服元陳忘之

二日 丁辰晴

一院中當月中雇婢女小兒今日新參

一大行院殿一橋中納言殿御来

一文武官、當日出仕之

十一月大辨日 丙卯晴

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

一今日主上御吉祥院御法服元服ニ而
[illegible]
[illegible]
[illegible]

十日甲申晴
一今日当番出勤
一元服子一名ヲ以
右之段申入ル
十一日乙酉
十二日丙戌晴
一三人奴二十本
清閑一指
右之通従上様御沙汰之旨
百ヶ所奥ゟ
十三日丁卯晴
一新嘗祭ニ付
一今日出勤
十四日戊辰晴
一今日出勤
十五日己巳晴
一今日出勤
一御当代出勤

十五日己丑
一今日二品宮様御方御祈禁
一傳奏代出勤　仙洞御所へ御出
一新清水地震被相止候旨申来ル
ル生乗ニ付彼是ニ付而ハ
ほた也ニ而ハ
十六日庚午時

十七日辛未晴
一今日当番出勤
一詰　清水寺

十八日壬申晴
一南大門修復成就ニ付代生玄

十九日癸酉晴
一今日加茂臨時祭
使　贊一尾左中将藤原蔭基朝臣

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

二十日甲戌晴

辛酉 未晴

一今日馬寮ニ行出勤

十二日丙子晴 朝小雪

一今暁酉刻比ニ失火ノ又宮刻迄ニ失火ニ

十三日丁丑曇 未刻ヨリ

一早朝山田今孝ヨリ

十四日戊寅雪

一今日出勤為暑ニ

二十人ニ出 一袋

不参勘院為ニ十ニ

未ニテ五ツ赤信ニ付ニ

北門ヨリ帰ル 山田

庖厨ヨリ帰ル 陽波ニ

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

十五日己
[illegible]

十六日庚辰晴
一今朝雪降三寸二十分
之後雪猶不休晝夜
日夜猶降積尺寛
一宮列此外町今朝
[illegible]

[illegible]

[illegible]

晦日甲申雨
一今朝小林隆向卿朱油卿事

十二月大智乙酉曇
一去月廿一日雪付人ら之文代ら付乃花
無知ニ而書為書、以上雨
入候如斯候

二日丙戌晴
一人ら油卿ら之文、江戸、報知和来
一内侍在陣時、西御庄ら朱ら

三日丁亥晴
一勅使院、菖蒲葺
一参朱、之事
報之事
仕ニ乃
為御祝儀
参

四日戊子晴

五日己丑

五日 己丑 晴

六日 庚寅 晴

一当番之行先勤ル

一院御所様御参内ニ付 御供奉ル

七日 辛卯 晴

一朝勤仰 十五

太元帥御修法御結願ニ付 御参内

御退散

宗忠武門亜

八日 壬辰 晴

一武鑑当年中六年ニ加級之年ニ付少々訂正

ケ所有之候間 随時御補正有之候様

仰ら答ル

九日癸巳晴

一人〻御祓名簿持参献之

一和漢書一部来ル代金弐朱ト銭弐百文相渡ス

仏供料

米五合 代銀七匁五分

右来ル卯年中毎朝ニ相渡ス旨申来ル

依之名前ニ而仏供料米五合ツヽ相渡ス

十日甲午晴 朝曇

一当番出勤前前願并月俸改之

一大地震ニ付改元定之儀仰下ル 上卿三條左大臣 奉行伊予守

一右ニ付而ハ追而可申渡旨ニ而 但 伊予守 申刻前御帰り

一両日代参御差支之旨 御先例ニ而当月精進ニ付

一改元論ニ為天保

十一日乙未晴 朝曇

一撫子ノ内先文事社今暁 事故ニ而 欠之

十二日丙申晴

一京都加級年限ニ付心得ニ而下ル 相役相伺之通

徳川林政史研究所蔵

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

十二日丙申晴

一亭加級等張之付已六位下少将被叙爵之
依恐悦参上 酉刻参内 申刻退出

十三日丁酉晴
一今日当番出勤 寅刻参内(後略)

十四日戊戌晴
一当番出勤

十五日己亥晴

十六日庚子曇雲

十七日辛丑晴

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

十八日壬寅晴

一今日当番奏公ニ付右衛門督中へ御礼ニ参

一汁一菜

右之例等未被行事

一町尻正忠此度御暇ニ付上京ニ付

先年ニ勤仕ニ付

疱瘡ニ付中ニ参ニ而一通

同看ニ付参ニ而今ニ御礼ニ罷

此ニ候ニ付人上ニ而敬安ニ参

日野行光

芳子殿中

十九日癸卯晴 報恩寺

一家来御除ニ付御礼

一半疋 一通

太営来被行事

八郎村ゟ

二十日甲辰晴

一武鑑地板、加級正六位下勅許ニ付右

御礼 沸本仙助服忌ニ付代理

大営祢 任官御礼ニ付代理ニ罷出

任官奏 参内申剋ニ罷出

井上右馬頭

右申請 加級 宣下之

右之清志軍務大尉

右申渡 加級 宣下之

廿一日 乙酉 晴

一朝廷関係之儀ニ付、御伺書 午刻着 廿日出 第上ル 夫々御指図有之

一今日常御殿御庭掃除 御麻生勤 別紙ニ不記

一家来供揃之儀、御伺書 御下ケ

廿二日 丙戌 午晴

一入ラヽ者無之

廿三日 丁亥 未晴

一半刻前、家内祈念如例年男 久次郎、

去ル廿日出生ニ付、御礼申上ル

一右ニ付、御初穂金弐百疋 内信ニ而献上 御供米弐斗弐升ヲ

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

十四日戊申 晴
一刀某来称菩提院意祥院来ル不快
一重二字時服一曲
右如例勅使
一鉢敬子内親王御文所 綾通法室ニ入ル
世俗人ふし当ル 銀春門院号ニ付 依之 史記 列伝 先日ヨリ
之事ニ付 御返事ニ及ハス 其儘ニ 民経卿 宣下 勅使
ニ 世尊人ふし 依之

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

二十九日癸丑晴
一今日陰陽寮ヨリ来ル
一南練壱尺
一紙壱帖
一口壱面
一紙三カ
一金壱両ヲ物ニ来ル
南練壱尺
一金壱両ヲ物ニ来ル
三巻ニ
一金壱両ヲ物ニ来ル
三巻ニ
一金壱両ヲ物ニ来ル
三巻ニ

国立国会図書館　　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

826
371
91

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用